

学校だより

令和8年3月24日

第14号



目指す学校像

優しさと笑顔あふれる学校

ふじみ野市立福岡小学校

〒356-0028 ふじみ野市西原 2-6-1

<http://www.fujimino.ed.jp/fsho>

## 「ご卒業おめでとうございます」

校長 鈴木孝雄



『5年生の皆さんはどんな6年生になりますか？』

みんなに作り上げていってほしい学校があります。それは、やさしさと笑顔のある学校です。そのために何をしたらよいか一人一人が考えて4月8日を迎えてください。』

子供たちが5年生の時、卒業式の予行練習で伝えた言葉です。子供たちの話を聞く態度を見て、令和7年度の福岡小学校の最上級生としてこの子たちはたくさんのことをがんばってくれるはずだと確信できました。

あれから一年があっという間に経ちました。子供たちは自分にできることを精一杯取り組み、たくさんの活躍をみせてくれました。学校のために何ができるのか、最上級生として何ができるのか、気づき、考え、行動してくれた一年だったと思っています。その成果は6年生を送る会の下級生の出し物や卒業式予行練習です。6年生を送る会での下級生たちの出し物は6年生への思いがあふれ、楽しくもあり、もう会えなくなってしまうというちょっぴりさみしさもある会でした。卒業式予行練習は5年生が参加し、6年生としての思いと来年度へのタスキをつないだ卒業式予行となりました。6年生の行動はみんなのお手本となり、憧れとなっています。

そんな子供たちだからこそ、時には悩み、落ち込んだり、不安になった日々もあったはずですが。それを支えていただいた保護者の皆様のおかげで本日はあります。保護者の皆様に支えていただいた6年間は激動の6年間でした。たくさんの規制があり、人と人との関わりが本当に保てるのだろうか。そんな日々がたくさんありました。それでも、いつでも学校に対してご支援・ご協力をいただきました。4年生になって、待ちに待った日常の回復なのに戸惑うこともありました。それでも学校を支えてくれたことに感謝してもしきれません。

本日の卒業式が子供たちにとっても保護者の皆様にとっても、よい卒業式であったと思っています。何事も本気で頑張る素敵な中学生になってくれることを期待しています。ご卒業おめでとうございます。

本気ですれば大抵のことができる 本気ですれば何でもおもしろい  
本気ですれば誰かが助けてくれる